



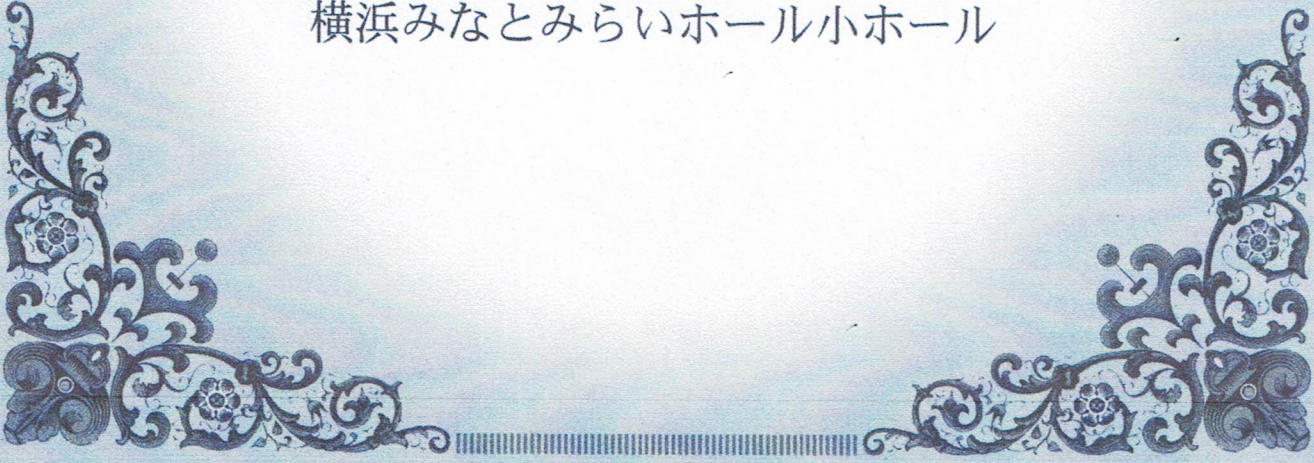
*Libero Canto*

声楽コンサート

*Libero Canto* の会

2010.8/29 (日) 19:00

横浜みなとみらいホール小ホール



## Libero Canto について

20世紀半ばウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法で、かつてローマにて「我々が忘れてしまった正統的ベルカント唱法」と評価されました。現在はエドウィン・サモシ教授が継承しウィーン、ニューヨークを中心にこの活動を行い、発展させています。Libero Canto Japanの主宰者 長谷川 敏は1973年からウィーンで教授に師事。留学後も長年にわたり毎年ウィーンで歌唱法、教授法の薫陶を受けてきており、両教授の数少ない継承者としてこの方法の伝播に努めています。そしてヴェルディ国際コンクール入賞者など声楽家や優秀な音楽教員を多数輩出しています。

Libero Cantoでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そしてクラシックの声楽にありがちな構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをしないで、ごく自然に楽な息のエネルギーで歌っていきます。力づくでなく、軽く明るい喉のメカニズムをトレーニングし、身体の働きを自由にすることによってその人のもつ本来の声のクオリティと音楽を正しく出していくものです。この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要ですが、熟達すれば20世紀初頭に西欧で活躍した名歌手のように、優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現するのです。



### Profile

長谷川 敏 HASEGAWA SATOSHI

東京藝術大学声楽科卒。同大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒。  
声楽をLibero Canto創始者L. サモシやE. サモシ、H. ドイツ、A. デルモータ等の諸教授に師事。  
F. マーラー指揮「藝大メサイア」のテノールソロでデビュー。NHK新人演奏会などに出演して渡欧。ウィーンムジークフェライン大ホールにてウィーントーンキュンストラ管弦楽団の演奏会にテノールソロ出演したのを始めウィーンにて数多くのコンサート、ミサ、放送に出演。帰国後はNHK FM、東京文化会館、東京オペラシティホールなどでのリサイタルや新日本フィル、神奈川フィルとの「第九」や「メサイア」などオラトリオのソリストとしても数多く出演している。オペラでは日本オペラ協会公演「修禅寺物語」の源頼家、「三人の女達の物語」の大名、「あだ」の將軍をはじめ諸団体での「夕鶴」の与ひょう、「椿姫」のアルフレード、「アイーダ」のメッサジェーロ、「魔笛」のタミーノ、「ジャンニ・スキッキ」のリヌッチョ、「セヴィリアの理髪師」のアルマヴィーヴァ公爵、「アマルと夜の訪問者」のカスパール、「ルクレーシア」の語り手などで出演。2008年には新国立劇場でのオペラ水野修孝作曲「美女と野獣」日本オペラ協会公演に仙蔵役で出演した。  
東京藝術大学講師、お茶の水女子大学講師、茨城大学教授などを歴任。現在茨城大学名誉教授、洗足学園音楽大学講師。日本オペラ協会会員、横浜シティオペラ会員、東京二期会会員。 Libero Canto声楽指導者。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail b.i.z.en66@gmail.com

Tel 050-1448-9890